

2025年取組一覧(アフリカ)

ナイジェリア

日本・ナイジェリアビジネス促進協議会第3回会合開催

南アフリカ

経済産業省と南ア政府との脱炭素MoCの署名

モザンビーク

TICAD 9 での園芸博覧会契約及び6件のMOU締結

1 概要

形式	政府への働きかけ
開催日	令和7年（2025年）7月21日
主催（共催）	在ナイジェリア大使館、JETRO、ナイジェリア投資促進委員会（NIPC）
関連企業	当地日系企業

2 成果

（1）背景

ナイジェリアでは、日系企業の事業活動に係る制度・手続面の課題について、官民で協議する枠組みとして、2019年のTICAD7日・ナイジェリア首脳間合意を受け、「日本・ナイジェリアビジネス促進協議会」が設立された。

（2）在外公館の対応

在ナイジェリア大使館は、JETRO、JICA、当地日系企業及びナイジェリア投資促進委員会（NIPC）と連携し、日本企業の要望を整理の上、**第3回協議会を開催**した。協議会では、日本側の問題提起に対し、ナイジェリア政府関係機関から制度改善の取組について説明が行われた。

（3）結果

税関・通関、ビザ、NAFDAC承認手続、規格外製品対策、投資インセンティブ及び外貨対応等について、政府側の取組が共有され、日本企業が指摘してきた主要課題に関する制度運用の現状が共有された。併せて、**個別企業と関係当局との直接的な意見交換が行われ、継続的対話に向けた基盤が強化された。**



鈴木大使、奥JETRO所長及びリムNIPC総裁



会合時の様子



集合写真

1 概要

形式	政府への働きかけ
開催日	令和7年（2025年）11月19日
署名者	南アラモホパ電力エネルギー大臣及びタウ貿易産業競争大臣、志水大使



MoC署名

2 脱炭素MoCの署名による日・南アのエネルギー移行ビジネス創出へ

（１）署名式の実施

令和7年11月19日、ヨハネスブルグ市サントンにおいて、志水史雄駐南アフリカ共和国特命全権大使は、経済産業省と南アフリカ電力エネルギー省及び貿易産業競争省との間の脱炭素に関する協力覚書（以下、本MoC）の署名式に出席し、コシエント・ラモホパ電力エネルギー大臣及びパークス・タウ貿易産業競争大臣と共に本MoCに署名しました。

（２）MoCの内容

本MoCは、南アフリカのエネルギー移行に関する計画、グリーン水素・アンモニア等のクリーンエネルギー、CCUS、スマートグリッド等のデジタル技術、トランジションファイナンス、さらには産業の脱炭素化や重要鉱物資源分野での産業協力など、幅広い分野での協力の枠組みを構築するためのものです。

（３）ラモホパ大臣及びタウ大臣と志水大使の意見交換

署名に当たって開催された志水大使と両大臣の会談においては、本MoCの署名を契機に、日・南ア間でエネルギー移行に向けた協力が着実に進展するよう官民で連携しながら取り組んでいくことや、南アフリカがアフリカ初の議長国を務めるG20サミットの成功に向けて協力して取り組んでいくことを確認しました。



ダウ大臣・ラモホパ大臣との意見交換



南ア政府X（G20サミット）への投稿

1 概要

形式	政府への働きかけ
開催日	令和7年（2025年）8月20日～22日
主催（共催）	国際園芸博覧会協会他
関連企業	下記参照



国際園芸博覧会調印式

2 成果

●当国からチャポ大統領が訪日出席したTICAD 9のサイドイベントとして8月21日、2027年国際園芸博覧会の公式参加契約は、モザンビーク含むアフリカ4か国と締結された。当館は本年1月の新政権発足後、所轄の農業大臣に参加を強く働きかけ、いち早く参加表明を得ることができた。

●また、案件開発や実行に当館が働きかけや支援を行っている以下6件のMOUが締結された。

- ① 石油・天然ガス分野における人材開発に関する実施プログラム（INP、ENHとJOGMEC）
- ② ITプログラミング技術者養成事業（イノベーション・シーカーズとダイビック）
- ③ 道路PPP事業（運輸省、ANEとインデックスストラテジー）
- ④ コインランドリー事業（ラヴァンダリアセルフイーとライフブリーズ）
- ⑤ ナカラ工業団地（APIEX、CFMとマナーキー）
- ⑥ 母子健康手帳普及支援（保健省と豊田通商、CFAOモビリティーマザンビーク）



石油・天然ガス分野における人材開発のMOU



道路PPP事業のMOU